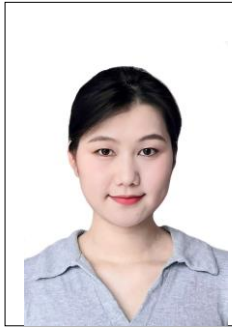


別紙 2

異文化理解促進プログラム協力講師 自己紹介

※公開可能な内容のみ記載ください。



名前：林 詩萍（リン シヘイ）

職業：大学院生

所属：人間社会科学研究科

専門分野：日本語教育学

日本語レベル：講義ができる

英語レベル：簡単な会話

出身国や外国で過ごした経験について教えてください：

中国広東省出身です。日本に留学してから2年が経ちました。日本の繊細な礼儀作法や丁寧なコミュニケーションに感銘を受けました。今年の2月には、タイのタマサート大学で3週間の海外実習を行いました。タイの教育システムや文化を学ぶ機会を得ただけでなく、実際に現地の学生たちと交流することで、異文化理解の実践力を身につけることができました。

広島の子童・生徒たちにどんなことを学んでほしいですか：

広東省の文化やタイでの実習経験を紹介することで、世界にはさまざまな興味深い文化が存在することを知ってもらいたいです。例えば、広東料理の紹介や民俗文化の体験を通じて、異文化に対する関心を高め、探究心を育ててほしいと考えています。また、広島の子童・生徒たちにも、多様性を受け入れ、尊重する姿勢を身につけてほしいと思います。

自己紹介を自由に記載してください（写真などもお使いください）：



初めまして、林詩萍（りん しへい）と申します。中国の広東省出身で、現在は広島大学大学院で日本語教育学を専攻しています。広東省は「美食の天国」とも呼ばれ、私の故郷です。シュウマイやチャーシューなど、美味しい料理が大好きで、実は私も料理の腕前を磨いています！私は中国の伝統衣装が好きです。また異文化に興味を持ち、常に新しい文化や伝統に触れることを楽しみにしています。その一環として、各国の伝統衣装を身に纏って、異国の風を感じながら、文化の奥深さを感じることに情熱を注いでいます。皆さんに、自分の楽しい体験を共有し、一緒に異文化の魅力を発見していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします！